

全 建 22年度税制改正要望固まる

CCUS設備投資に支援も

全国建設業協会(全建、奥村太加典会長)は、2022年度の税制改正要望をまとめた。建設キャリアアップシステム(CCUS)の運用に伴う設備投資などへの特別措置の創設や、新型コロナウイルス感染症対策のための中小事業者における固定資産税・都市計画税の減免措置の継続、工事請負契約書の印紙税の撤廃あるいは軽減措置の延長などを盛り込んだ。21年度に期限が切れる特別・軽減措置の延長が中心。今後、政府や、国土交通省など関係機関に要望活動を行っていく。

CCUSに関しては、システムの普及のため、パソコンやカードリーダーなどの設備投資やシステム登録料について、税額控除などの特別措置の創出を求める。

新型コロナウイルス対策のため中小事業者に対する固定資産税・都市計画税の

藤川会長を再選

全管連



藤川会長

全国管工事業協同組合

連合会は1日、第61回通常総会を松山市内で開き、任期満了に伴う役員改選で藤川幸造会長を再選した。

藤川会長は「新型コ

ナウイルス感染の拡大が収束しない中、参加者の安全を第一に考慮し、昨年同様、規模を縮小しての開催となった。2022年度の総会開催は北信越ブロックとなっており、23年度には、再びここ松山で全国大会が盛大に開かれることを願う」などとあいさつした。

承認した21年度の事業計画では、所属業者数の減少に合わせた組織の見直しや建設キャリアアップシステム(CCUS)を活用した技能

措置の延長▽現場の仮設事務所に関する法人住民税と事業税での事務所・事業所からの除外などを要望する。

視覚障害者の転落 AI活用で防止へ

国土交通省の有識者会議は、視覚障害者の駅ホームからの転落を防ぐ、安全対策にAIなどの新技術を活用するための中間報告をまとめた。

過去10年間の視覚障害者の転落は年間平均で約75件発生している。このうち列車と接触した事故件数は1年当たり約2件となっている。国土交通省は2020年度に有識者を交えた検討会を設置。ホームドアが設置されていない駅ホームを対象に、新技術を活用した対策、ホーム上の歩行訓練など、視覚障害者が安心してホームを利用できる方策を探っている。

中間報告によると、▽ホーム短軸方向歩行時の転落防止策の検討や新技術の実証実験を継続する。

ホームドアの整備には多くの時間、費用がかかる。ホームドアによらない安全対策も喫緊の課題だ」とした。

2018年の大阪北部地震で多数の踏切道に長時間の遮断が発生し、救急救命活動に支障が生じたことを受け、鉄道事業者と道路管理者に災害時の管理方法をあらかじめ国に報告するよう求める。国土交通省は、今回指定した181カ所を含め、25年度までの5年間で、約500カ所の踏切道を指定する方針だ。

美保グループら9件選定 BIM導入効果検証支援 国土交通省

国土交通省は、BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業に基づく「中小事業者BIM試行型」の提案募集で、2021年度に取り組み9件を選定した。応募のあった24件の中から導入の効果検証や課題分析を支援する。

同モデル事業は、国土省や関係団体でつくる建築BIM推進会議がまとめたガイドラインに沿って、BIMを設計・施工に横断的に活用するプロジェクトを支援する。中小事業者BIM試行型では、複数の事業者がグループを構成し、BIM導入で生じる課題とその解決方法、改善方策の検討、BIMの導入・活用ロードマップ案の提示などを行う。

9件は次の通り。

▽地域の設計業者を束ねたフルBIMモデル構築と地方ゼネコンにおけるBIM規格の有効性確認とその効果検証「美保テクノス、桑本建築設計事務所、平設計、亀山設計、ダイキンHVACソリューション、中四国、ダイキン工業」

▽「仮想PJ見合ビル新築工事におけるBIM活用による基礎工事の施工効率化の試行」見谷組、轟建設

▽「庄内BIM研究会におけるBIM活性化に向けたケースメソッドとワークフローへのアプローチ」ブレinstaff、佐藤工務、鶴岡建設、林建設工業、丸高

▽「千葉県BIM推進会議」千葉県耐震判定協議会、千葉県建築士会、日本建築家協会関東甲信越支部、千葉地域会JIA千葉、日本建築構造技術者協会関東甲信越支部JSICA千葉、千葉県設備設計事務所協

▽「個別またはクラウド共同設計における、構造種類別BIMスタターパックと、BIM支援環境整備の有効性検証の提案」フローワークス、一級建築士事務所山田屋、東原建築工房、原忠PLATS一級建築士事務所、ファンシエ斎藤正吉建築研究所、design of office porte、bless空間設計、平光佳絵、Liv設計工房、スタンズアーキテクト

▽「地方における地場業者間でのBIM連携モデル検証」ixrea、渡辺組

▽「ヒロシマBIMプロジェクト」杉田三郎建築設計事務所、田原泰浩建築設計事務所、下岸建設

▽「BIMによるライフサイクルアセスメント(LCA)への展開と有効性の検証」FMSシステム、東京都立大学